

《平成28年 研究会活動紹介》

研 究 会 名	代 表 者 氏 名
梵語仏典研究会	横山 裕明
研究会名 略称:	所 属:総合仏教研究所
活 動 紹 介	
<p>【活動内容】</p> <p>本研究会は、大正大学の伝統的な梵語仏典研究を受け継ぐ研究会であり、『声聞地』『律経』およびサンスクリット修辭法の研究を中心に活動している。『声聞地』では、サンスクリット写本を底本としてチベット語訳諸版、漢訳を比較資料に用いて既刊校訂本を校正し、より正確な校訂テキストと和訳の作成をおこなっている。『律経』では、『律経自註』のウメ字写本や諸校訂本を比較資料に用いて校訂テキストと和訳の作成をおこなっている。サンスクリット修辭法では、『詩の修辭法の手引き(Kāvyaḥkārāsūtra)』および註釈書のRomanized textならびに訳註の作成をおこなっている。なお、本会では協力して内容の検討および相互批判をおこなうが、各自の研究テーマに沿って選択して参加することも歓迎する。</p>	
<p>【活動実績】※出版/論文/受賞・研究助成の経歴など</p> <p>『大正大学総合仏教研究所研究叢書第4巻 瑜伽論 声聞地 第一瑜伽処』『同第18巻 第二瑜伽処』(山喜房佛書林 1998, 2007), 米澤嘉康(代表)「7世紀の律文献にみられる仏教者と仏教教団の研究」科研費基盤(C) 2014年度～, Ԡaṇḍin著『詩の鏡』, Vāmana著『詩の修辭法の手引』および『同註』のRomanized Textならびに訳註(『綜佛年報30-36』)など。</p>	
<p>【平成28年度活動計画】</p> <p>『声聞地』は、「第三瑜伽処」の校訂テキストおよび和訳の出版準備として原稿の見直しと整理が中心となる。『律経』は、「雑事」の校訂テキストおよび和訳の作成をおこなっていく。サンスクリット修辭法は、『詩の光明(Kāvyaḥprakāśa)』のRomanized textおよび和訳の作成に着手する。また、海外大学との研究セミナーも開催予定である。</p>	